

産業廃棄物処理施設維持管理記録

2022年 12月度

(対象期間 2022年12月1日 ~ 2022年12月31日)

バイオマス焼却設備(利根川事業所)

①. 処分した産業廃棄物の種類及び数量

種類	数量(トン/月)
汚泥	2,398.5
廃プラスチック類	2.2
紙くず	2.9
木くず	6.3
廃油	0.3
合計	2,410.2

②. ばいじんの除去(清掃)を行った年月日

2022年6月13日	減温塔清掃
2022年8月22日	8月15日~27日焼却設備止転整備

※上記の他、ばいじん除去は連続で行っています。

③. 煙突から排出される排ガスの測定に関する事項

(1)排ガスを採取した位置	焼却炉煙突	
(2)排ガスを採取した年月日	2022年11月8日	
(3)測定の結果の得られた年月日	2022年12月1日	
(4)測定の結果		
項目	測定結果(単位)	基準値 ^{※2,3}
硫黄酸化物	<0.02 (m ³ /h)	39.5 大防法
ばいじん	<0.003 (g/m ³) ^{※1}	0.04 大防法
塩化水素	<1 (mg/m ³) ^{※1}	700 大防法
窒素酸化物	120 (cm ³ /m ³ (ppm)) ^{※1}	250 大防法
ダイオキシン類	0.000051 (ng-TEQ/m ³) ^{※1}	0.1 特措法

※1: 酸素12%換算値

※2: 大防法→大気汚染防止法 特措法→ダイオキシン類対策特別措置法

※3: 硫黄酸化物については、設計上の排出量

バイオマス焼却発電施設(八潮工場)

①. 処分した産業廃棄物の種類及び数量

種類	数量(トン/月)
汚泥	3,374.2
廃プラスチック類	5.0
紙くず	0.7
木くず	2.4
廃油	
合計	3,382.3

②. ばいじんの除去(清掃)を行った年月日

2022年4月28日~30日	炉内、ストーカー下、バグフィルター
2022年5月2日~4日	炉内、煙道、吸収塔
2022年8月13日	吸収塔
2022年12月29日	吸収塔ばいじん掃除

※上記の他、ばいじん除去は連続で行っています。

③. 煙突から排出される排ガスの測定に関する事項

(1)排ガスを採取した位置	焼却炉煙突	
(2)排ガスを採取した年月日	2021年9月13日、2022年11月11日	
(3)測定の結果の得られた年月日	2021年10月19日、2022年11月18日	
(4)測定の結果		
項目	測定結果(単位)	基準値 ^{※2,3}
硫黄酸化物	0.03 (m ³ /h)	4.6 大防法
ばいじん	0.001 (g/m ³) ^{※1}	0.04 大防法
塩化水素	3 (mg/m ³) ^{※1}	200 条例
窒素酸化物	140 (cm ³ /m ³ (ppm)) ^{※1}	180 条例
ダイオキシン類	0.023 (ng-TEQ/m ³) ^{※1}	0.1 特措法

※1: 酸素12%換算値

※2: 大防法→大気汚染防止法 特措法→ダイオキシン類対策特別措置法

※3: 硫黄酸化物については、設計上の排出量

バイオマス焼却設備(尼崎工場)

①. 処分した産業廃棄物の種類及び数量

種類	数量(トン/月)
汚泥	1,494.0
廃プラスチック類	80.3
紙くず	
木くず	0.0
廃油	
合計	1,574.3

②. ばいじんの除去(清掃)を行った年月日

2022年12月30日	

※上記の他、ばいじん除去は連続で行っています。

③. 煙突から排出される排ガスの測定に関する事項

(1)排ガスを採取した位置	排気筒	
(2)排ガスを採取した年月日	2022年8月5日、12月6日	
(3)測定の結果の得られた年月日	2022年9月2日、12月26日	
(4)測定の結果		
項目	測定結果(単位)	基準値 ^{※2,3}
硫黄酸化物	0.07 (m ³ /h)	1.76 大防法
ばいじん	0.009 (g/m ³) ^{※1}	0.08 大防法
塩化水素	<1 (mg/m ³) ^{※1}	700 大防法
窒素酸化物	110 (cm ³ /m ³ (ppm)) ^{※1}	250 大防法
ダイオキシン類	0.021 (ng-TEQ/m ³) ^{※1}	1 特措法

※1: 酸素12%換算値

※2: 大防法→大気汚染防止法 特措法→ダイオキシン類対策特別措置法

※3: 硫黄酸化物については、設計上の排出量

※尼崎工場では、7月12日に産業廃棄物焼却設備を廃止し、8月19日より新たなバイオマス焼却設備を運転しています。